

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公表番号】特表2000-505492(P2000-505492A)
【公表日】平成12年5月9日(2000.5.9)
【出願番号】特願平9-530556
【国際特許分類第7版】
C 0 8 G 18/32
【F I】
C 0 8 G 18/32 A

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月16日(2004.2.16)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年 2月16日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第530556号



2. 補正をする者

氏名(名称) ヘンケル・コマンディットゲゼルシャフト・アウフ・
アクチエン

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 稔



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り

(別 紙)

請 求 の 範 囲

1. NCO : OH比が10 : 1～1 : 10でポリイソシアネートとポリオール成分とを反応させることによって得られるポリウレタン樹脂であって、該ポリオール成分が0.1～100重量%のランダム化ヒマシ油を含み、該ヒマシ油が、塩基性リチウム塩の存在下に約0.1～15時間、100～280℃に加熱することによってランダム化されたものであることを特徴とするポリウレタン樹脂。

2. ポリオール成分が、多くとも100ppmのリチウムイオンを含有することを特徴とする請求項1に記載のポリウレタン樹脂。

3. ヒマシ油を200～280℃に加熱することを特徴とする請求項1または2に記載のポリウレタン樹脂。

4. NCO : OH比が1 : 4～4 : 1であることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のポリウレタン樹脂。

5. 発泡体、注型用樹脂、被覆物および／または複合材料の製造のための請求項1～4のいずれかに記載のポリウレタンの使用。

6. 長いゲル化時間を有する、イソシアネートとのポリウレタン樹脂を製造するためのポリオールの使用であって、該ポリオールがランダム化ヒマシ油であり、該ヒマシ油が、塩基性リチウム塩の存在下に約0.1～15時間、100～280℃に加熱することによってランダム化されたものであることを特徴とする使用。

7. ランダム化ヒマシ油を用いて製造されたポリウレタン樹脂のゲル化時間が40分以上であることを特徴とする請求項6に記載の使用。